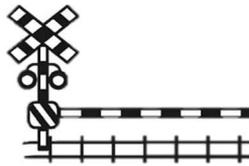


羽島市発達支援センター



# ももだより



2月の下旬頃から、学校ごとに引き継ぎ（連絡会）を行いました。小学校の先生や教育委員会の先生に来ていただき、支援の様子を参観してもらいました。その後、担当支援員から学校の先生に申し送りを行いました。子どもたちは緊張しながらも、製作活動や運動遊びに取り組み、できるようになったこと、頑張っていることを見てもらうことができましたよ。同じ小学校に行くメンバーの顔合わせをするいい機会にもなりました。小学校へ通う日が待ち遠しいですね。



令和6年度 さよならの春

今年度も最終月になりました。

保育園や幼稚園の先生方との研修会で、講師の先生から教えていただいたことばです。「みんなと全く同じことをすることより、同じ場所で楽しめることが大事です。今日も、楽しかったなど実感できることです。」……「ゴールが同じでも、一人一人違う道のりややり方で大丈夫です。」……一人一人の楽しみ方や得意なやり方を見つけることが大切ということですね。それを見つける場所がこのももです。

そして、ももは、失敗を練習する所です。うまくいかない時にどうすればいいかを考える場所です。子どもも、親も、職員も。焦らず考え試すことが大事です。考えてもらうことが、子どもたちの頑張る力につながります。

そんなことを工夫していると、お子さんはちょうど1年生。

お子さんの安全基地になり、お子さんに寄り添いながら歩まれたお父さんお母さんは、6年と数ヶ月かけてベテランのお母さんやお父さんになりましたね。今年は27人の1年生が誕生です。おめでとうございます。

そして、皆さんと一緒に悩み、考え、模索してきた二人の支援員が、とても残念なことに退職することになりました。大塚先生と小野木先生です。一人一人のお子さんやご家族に寄り添う姿に感謝の気持で一杯です。たくさんの頑張りありがとうございます。もものよき理解者・応援者として今後も助けてくださいね。

管理者 永納香子

## 🌸 大塚先生と小野木先生からのメッセージです 🌸

8年間、温かい目で見守っていただきありがとうございました。皆さまと共にお子さまの成長を近くで見守ることができて、幸せでした。今後とも、皆さまのご健康とお子さまの健やかな成長をお祈りしています。

大塚真里子

個人的な報告となってしまいますが、3月末日で退職させていただくこととなりました。ここで得た経験は、私にとって何にも代えがたい財産です。ご指導いただいた皆さまと、関わってくださった全ての方に厚くお礼申し上げます。今後も私なりのペースで頑張りつつ、コツコツとスキルアップしていきたいと思います。今まで本当にありがとうございました。

小野木悠科子

